

氏 名	職 名	学 位
山崎 岩男	教授	芸術学修士

担当科目	声楽史、卒業研究（論文） / 舞台表現特殊演習Ⅱ、声楽作品研究Ⅱ、声楽実習Ⅰ・Ⅱ、修士リサイタル / 副科声楽Ⅰ
研究分野	声楽発声、オペラ、声楽表現
所属学会	日本声楽発声学会

学会および社会における主な活動	
1) さいたまシティオペラ会長として12年を通して、さいたまシティオペラの定期公演事業の企画、運営を行ってきた。 2) さいたま文化振興事業団理事、及びふじみ野市文化協会理事として、地域文化発展のための事業に参加、アドヴァイスを行っている。 3) 合唱を通してお互いの表現に触れる会「ともにうたわん」を立ち上げ、「社会包摂のために芸術に何ができるか」について研究中。	
主要研究業績	
1) オペラ公演企画：「さいたまシティオペラ2024年度公演「オペラジュエリーボックスⅡ&ガラコンサート/こうもり」企画運営を担当。昨年に続き、プロジェクトマッピングを使用した舞台を使用し、昨今の長い作品に馴染めない若年層に慮って約1時間に縮めたオペラを上演した。（2024/9/2:さいたま市文化センター小ホール。主催：埼玉シティオペラ共催さいたま市文化振興事業団/他） 2) 演奏会出演：第6回「いいやま音楽祭」地元作曲家として名高い作曲家中山晋平の名曲「カチューシャの唄」が作曲されて今年で110年を迎えるということで、中山作品の編曲版を合唱、オーケストラ、ソリストによって演奏する企画。いいやま音楽祭合唱団、長野交響楽団、指揮：宮沢等ソプラノ：徳竹雪子、アルト：奥野恵子テノール：上原正敏、バリトン：山崎岩男第2ステージでは、バッハ「シャコンヌ」ベートーヴェン交響曲第9番合唱つきが演奏された。（2024/11/24:いいやま文化交流館なちゅら大ホール。主催：いいやま音楽祭実行委員会/飯山市/他） 3) 声楽・音楽表現レクチュア：第29回声楽研究会「ひまわり」の会レクチュアコンサート：毎年講師として、会員の演奏間にレクチュアを実施しているコンサート。今年は公開レクチュアコンサ講座に尚美学園大学院在学中の学生に登場いただき、バロックの器乐的な作品の演奏とベルカントの誕生についてレクチュア実際に演奏を交え解説した。（2024/12/15：江東区チェリーホール。主催：声楽研究会ひまわりの会） 4) 個人研究：「社会包摂のために芸術に何ができるか」の取り組みの一つ。1月に完成した「唱歌でたどる日本の四季Ⅱ」をテキストとし高齢者の多い合唱団5団体が演奏を披露しあい交流した。互いに感想を交わし合い音楽の表現や、個々の歌にまつわる思い出の披露までが飛びだし様々な効果があった。全体で腹式呼吸をベースとした発声を行い、同じ空間で表現し合うことが、新たな交流を生み出していた。参加：三ツ沢合唱団/コール・エニス/ラフオンターナ/明星大学歌う会/アミーチ・デル・カント。PF:柴田久美子/井上ゆり子/小川教子/河野陽子指揮：山崎岩男/原田泉。編曲、構成、企画、演出、コーディネート：山崎岩男（2025/2/28：中目黒GTプラザホール。主催：山崎岩男）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
伊藤 大	教授	文学士

担当科目	・日本演劇史 ・演劇表現基礎演習Ⅲ・Ⅳ ・舞台表現演習 ⅠA・ⅡA ・演出論Ⅰ・Ⅱ 卒業研究(演劇)
研究分野	演出 フランス演劇
所属学会	一般社団法人日本演出者協会

学会および社会における主な活動
劇団青年座研究所所長
主要研究業績
・劇団青年座公演『RAA－進駐軍特殊慰安所－』（2024 年 8 月／渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホール）構成・演出
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
岡村 宏懇	教授	学士（経済学）

担当科目	演劇表現基礎演習Ⅰ・Ⅱ、古典芸能研究A、古典芸能研究Ⅰ、演劇表現演習Ⅱ、総合演習B、総合演習Ⅱ
研究分野	演劇、舞台芸術、表現教育、古典芸能
所属学会	日本演劇学会 和文化教育学会（理事） 京都能楽会（大蔵流狂言師）

学会および社会における主な活動
【学会】 ・「狂言の笑いの神事性」（単独発表：口頭） 日本笑い学会 第31回大会（開催地：関西大学），2024年8月
【学術貢献活動】 ・京都女子大学国文学科・国文学会新入生歓迎行事「能楽鑑賞会」，2024年5月 狂言「寝音曲」の主人役を実演
【社会貢献活動】 ・大蔵流狂言師（出演） 京都八坂奉納狂言〔狂言「瓜盗人」盗人役（シテ）〕 2024年7月 観世青年研究能〔狂言「萩大名」太郎冠者役〕 2024年8月 郡山城能楽公演〔狂言「福の神」参詣人乙役〕 2024年10月 EDO－SAKABA〔狂言「寝音曲」主人役〕 2024年11月 …他 ・公益社団法人 沼津法人会「地域の文化向上に関する事業『日本の文化を紹介』」 狂言「千鳥」の酒屋役、「棒縛り」の主人役を実演，2025年2月 ・国／自治体との教育連携 京都市芸術文化協会主催「ようこそアーティスト文化芸術特別授業」（通年） 京都市内の小学校にて狂言の実演・解説およびワークショップ ・文化観光事業 （株）京都旅企画と提携し、京都来訪の修学旅行生や外国人を対象に、古典芸能（狂言）の魅力を伝えるべく体験型W.S.および実演を行った（通年）
主要研究業績
【学術著書】 （共著） ・『文化創造としての和文化教育 一過去・現在・未来の絆を紡ぐ一』風間書房，2024年11月 第Ⅳ章 第6節『『能狂言』の教材開発とその特性』（pp.251 - 260）を執筆担当
【研究論文】 ・「狂言の笑いの美—『雁礫』の笑いにみる神事性—」（査読有り） 日本笑い学会・笑いの研究 第31号，2024年8月，pp.29-38 ・「若狭の竹と土の共演—若州人形座『五番町夕霧楼』の舞台表現様式についての考察—」 尚美学園大学芸術情報研究 第37号，2024年12月，pp.1-16 ・「反抗の示威行動としての夕子の死」（査読有り） 桜美林大学研究紀要人文学研究 第5号，2025年3月
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
・文部科学省・日本学術振興会・科学研究費助成事業（科研費） 「竹人形文楽の総合的研究—水上勉の旧蔵資料から—」 基盤研究C〔課題番号／22K00215〕 研究代表者（単独）

氏 名	職 名	学 位
小林 仁	教授	修士（学術）

担当科目	「ミュージカル史」「ミュージカル作品研究」「ミュージカル歌唱研究Ⅰ」「ミュージカル歌唱研究Ⅱ」「舞台表現演習ⅠC」「舞台表現演習ⅡC」「卒業研究」
研究分野	ミュージカルを中心とした舞台発声および歌唱法
所属学会	なし

学会および社会における主な活動
なし
主要研究業績
2024.9 ライブコンサート企画・制作・出演 2025.1 足利オペラリリカ公演「愛の妙薬」出演 2025.3 ライブコンサート企画・制作・出演
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
関 聡太郎	教授	学術修士

担当科目	演劇表現演習Ⅰ 総合演習 A 西洋演劇史 古典芸能基礎演習（殺陣）Ⅰ・Ⅱ 舞台知的財産権概論 卒業研究（論文）
研究分野	舞台全般（演劇・ミュージカル他、ライブエンターテインメント） 時代劇研究 ライブエンターテインメントに係る知的財産権の研究
所属学会	日本弁理士会

学会および社会における主な活動
NPO 法人「演劇倶楽部『座』」 監事 講師 正伝十二騎神道流（古武道）四段位導士 前川知的財産事務所 パートナー弁理士（著作権、商標） 春日流小唄 名取（春日豊夕鐵） 2024 年 10 月 13 日～12 月 19 日 船橋市民ミュージカルカンパニー 演技指導・脚本演出 2024 年 12 月 7 日 第 16 回船橋市民活動フェア（きららホール） ミュージカル作品の構成・演出 2024 年 12 月 26 日 主催：船橋市民ミュージカルカンパニー ミュージカル「船橋に生まれて・・・」演出・演技（船橋市中央公民館）
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
青井 智佳子	准教授	芸術修士 (MFA)

担当科目	「ミュージカル表現演習Ⅰ・Ⅱ」、「総合演習A・B」、「身体表現B（ストリートダンス）」、「身体表現D（ジャズダンス）」、「卒業研究（ミュージカル）」
研究分野	コミュニケーションデザイン分野、映像デザイン研究、教育社会学、舞踊研究、衣装研究、社会学、オープンダイアログ
所属学会	オープンダイアログネットワークジャパン (ODNJP)

学会および社会における主な活動
Open Moment 現代社会の人間関係においては、あっちがだめならこっち、と自分も相手も選択できる自由があることから、対話をせずに関係を切ってきた人の望まない孤立が問題になっている。「本当に困ったときに、相談をしたり、頼りになる人がいない」状態に繋がり、孤立してしまうという問題を、オープンダイアログの対話実践を適用し解消していくことを目的とした活動。対話により、表情が変化する瞬間 (moment) を捉えたドキュメンタリー映像を制作している。「表情の変化の瞬間 (モーメント) を見る事は、100冊の本を読むより断然早い！」 【映像制作、配信】 1、Open Moment 【「話しても無駄。」と思うあなたへ。】～オープンダイアログの対話実践で孤立を解消していく。 https://youtu.be/8Dkc_jsDWAY 2、Open Moment 【「30° スマホと携帯しか見ない私たちの対話実践」】（初心者だけの研修会） https://youtu.be/n34wkmjUY-w 3、Open Moment 【「話しても無駄。」と思うあなたへ。】～オープンダイアログの対話実践で孤立を解消していく。（ダイジェスト版） https://youtu.be/L93HgfUU19Q 【出演】 4、WISH TRAIN ダンサー出演 （「ろまらくだ」2024年7月）
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
大隅 智佳子	准教授	博士（音楽）

担当科目	声楽実習Ⅰ・Ⅱ ・舞台表現特殊演習Ⅰ・Ⅱ ・身体表現特殊演習 ・歌唱表現基礎演習ⅠC・ⅡC・ⅢC・ⅣC ・舞台応用芸術論 ・オペラ歌唱研究Ⅰ・Ⅱ ・オペラ作品研究Ⅰ・Ⅱ ・卒業研究（独唱）
研究分野	声楽・オペラ
所属学会	足利オペラ・リリカ（音楽監督） 公益財団法人東京二期会

学会および社会における主な活動 オペラ研究者として演奏研究を活発に実施。千代田区内幸町ホール主催オペラ公演企画の制作と上演、モーツァルトの音楽を楽しむ会主催コンサート（0歳から対象子供のためのコンサート企画含む）、足利オペラ・リリカ主催コンサートなど多数出演。栃木県足利市での足利市民会館専属プロフェッショナル芸術団体「足利オペラ・リリカ」において音楽監督を務め、自ら企画・運営を行いオペラ研究科での後進の指導。2024年度は新規にジュニア・コースと愛好家のためのシニアコースも開講し、足利に一層オペラ芸術が浸透するよう活動の枠を拡げた。同時に2024年度定期公演ドニゼッティ作曲《愛の妙薬》を監督及び主演とオペラ制作を担当。大正浪漫風演出に読み替えを行い、日本ならではのオペラの舞台を実演。自らのオペラ研究団体としてOHSUMI&PRODUCEを主宰。自主企画によるオペラ及び演奏会・学生のための発表会を企画・運営し、年に数回の演奏活動を行う。例年実施の夏と冬のアルテリーベ東京でのミニ・コンサート開催の他5月の記念イベントにも出演。アマチュア合唱団OAP合唱団を結成・運営。2024年度はコロナの脅威を乗り越えた喜びも表現できる輝かしい作品を選択し、お祝いのような華やかなオペラ・ガラをイメージ。モーツァルトの音楽を楽しむ会と共催し、モーツァルト作曲《戴冠ミサ》をガラ・コンサート付にて企画公演。合唱とオーケストラの大きな演奏会を公演し成功した。特に重要な演奏研究は戦争の影響で上演機会が減少したロシア・オペラの上演企画。チャイコフスキー作曲歌劇《エフゲニー・オネーギン》を完全自主企画し、日本におけるロシア・オペラ演奏者としてその責務を果たした。
主要研究業績 音楽・演奏博士としての年間を通じての演奏活動。（オペラ・コンサート含む）特に重要なものを挙げる。音楽監督を務め13年目となる足利オペラ・リリカにおいて定期公演のオペラをプロデュース、ドニゼッティ作曲歌劇《愛の妙薬》を2025年1月19日（日）に実施し成功した。オペラ演出技法で用いられる良い替え演出において日本で上演するオペラの舞台として設定をスペインから日本の大正浪漫薫る浅草へ読み替え。日本の観客が身近に感じられる美しい和の美の舞台は大きな反響をもらい既に再演の声が多い。自身のオペラ研究としては2025年2月19日（水）かつしかシンフォニーヒルズ小ホールにて完全自主企画においてチャイコフスキー作曲《エフゲニー・オネーギン》を公演。戦争の影響のため演奏機会が減少しているロシア作品に敢えて挑戦。価値ある芸術作品が戦争の影響で消されてしまう危機感を示したくプロデュースと主役演奏を務めた。オペラファンからも高い評価を受けた。また主宰運営するOAP合唱団と指導する学生たちの合同演奏会を実施。プロ・アマ・学生の枠を越え音楽での交流を実践した。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績 足利市民プラザを通じて「足利オペラ・リリカ」運営の文化庁への助成金申請

氏 名	職 名	学 位
清水 典人	准教授	教育学士・体育学修士

担当科目	身体表現 C、身体表現 E、舞踊表現演習 I、総合演習 A、卒業研究（ダンス）、卒業研究（論文）、舞台芸術教育論、舞踊表現基礎演習Ⅳ、舞踊特殊研究、
研究分野	舞踊学・スポーツプロモーション
所属学会	公益財団法人日本女子体育連盟、一般社団法人現代舞踊協会、日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門舞踊研究会、一般社団法人 Well-Wind

学会および社会における主な活動	
・一般社団法人現代舞踊協会 ダンスプラン 2024【選考委員】 ・全国つくば洋舞コンクール【審査員】 ・茨城県洋舞踊協会主催 The 19th DANCE SPIRIT IBARAKI【ゲストアドバイザー】 ・埼玉県高校体育連盟ダンス専門部埼玉県高等学校学校総合体育大会ダンスコンクール【審査員】 ・埼玉県高等学校体育連盟 「運動部活動指導者講習会」【講師】 ・第 56 回埼玉全国舞踊コンクール決選【審査員】 ・東京なかの国際ダンスコンペティション創作部門・小学生部門・中学生・高校生部門決選【審査員】 ・令和 6 年度舞台芸術等総合支援事業（芸術家等人材育成）現代舞踊心身芸術家育成 Project2 Choreographer`s concertVol.4【選定委員】 ・SHIMIZU Fumihito Contemporary dance workshop in Sapporo【講師】	
主要研究業績	
・すぐ COCO アート!!USA アメリカメリーランド州【ワークショップ・演出】 ・Misako Ballet Company performance "Ballet Bouquet"Jim Rouse Theatre, Columbia MD【振付、出演】 ・CAN`T STOP DANCIN` 2024 新国立劇場【ゲスト出演】	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
令和 6 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 現代舞踊新進芸術家育成 Project「アウトリーチ Project：劇場外での実践と地域へのコミットメント」それぞれのたましいのかたち Season2, 「Dancer meets Electric wheelchair Soccer player.」	

氏 名	職 名	学 位
三輪 亜希子	准教授	博士（体育スポーツ学）

担当科目	舞踊表現基礎演習Ⅰ～Ⅳ 舞踊史Ⅰ・Ⅱ 舞踊表現演習Ⅱ 総合演習A・B（ダンス） 総合演習B（論文） 卒業研究（ダンス） 卒業研究（論文） 舞台表現演習ⅠB スポーツ方法（ダンス）、舞踊論B
研究分野	人文・社会 芸術実践論 舞踊学 身体教育学
所属学会	舞踊学会 一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会

学会および社会における主な活動
・四日市市文化まちづくり財団事業「みはまワークショップ」ダンス部門ディレクター着任 ・みはまワークショップ「はじめてのシニアイキイキダンス」, 2024年6月・8月・10月 ・みはまワークショップ「はじめての子どもワクワクダンス」, 2024年6月・2025年2月 ・みはまワークショップ「ダンスラボ」, 2024年6月・8月・10月 ・音楽宅急便 2024「クロネコファミリーコンサート」3都市ツアー, 指揮: 飯森範親, 司会: 朝岡 聡 (元テレビ朝日), ダンス: 三輪亜希子, ① 演奏: 札幌交響楽団, 会場: 苫小牧市民会館 大ホール, ② 演奏: 名古屋フィルハーモニー交響楽団, 会場: 岐阜市民会館 大ホール ③ 演奏: 東京交響楽団, 会場: 東京オペラシティコンサートホール ・第56回埼玉全国舞踊コンクール創作部門第4位・奨励賞, 受賞作品指導 ・「文武両道場デュアルチャレンジプログラム 第8期」実技プログラム, 2024年7月, 株式会社 Waisports ジャパン ・ウエスタ川越音楽企画「ワクワクダンス 動物の謝肉祭編」講師, 2025年3月 ・芸術領域: 舞台表現学科ダンスコースのカリキュラム実践 (招待有), 令和6(2024)年7月, 女子体育, 日本女子体育連盟 編 66巻7号, 2024年夏号
主要研究業績
・中内 悠太・三輪 亜希子・曾我 麻佐子, ダンス動作学習のための特徴可視化と動作合成システムを用いた実演実験, 映像情報メディア学会技術報告, 口頭発表, 2025年3月 ・Experiments on Creating Dance Movements by Augmented Body Movements Using a VR Device (和訳: VR デバイスを用いた身体動作拡張によるダンスムーブメント作成実験), 英語原稿・査読付, 2025年2月, 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, 特集: 応用論文, Vol.1, No.1, 2007.
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
採択: モーションデータとVR環境を用いた舞踊の創作・教育支援システムの開発, 2025年度科学研究費, 基盤研究(C), 曾我麻佐子・海野敏・三輪亜希子 不採択: 可視化ツール「舞踊創作デザインシート」による教育支援の開発, 2025年度科学研究費, 基盤研究(C), 三輪亜希子